

第6章 スポーツ【問28～問34】

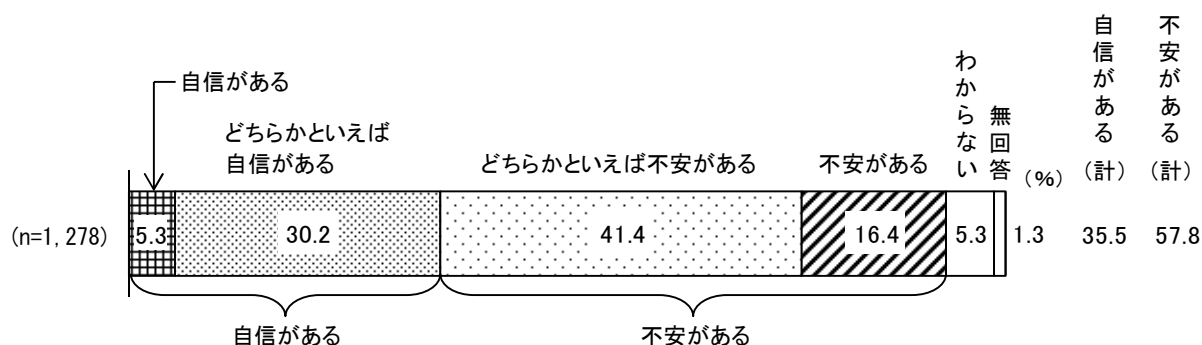
1 自身の体力観【問28】

【全体の状況】

自身の体力観について尋ねたところ、「自信がある」(5.3%)と「どちらかといえば自信がある」(30.2%)を合わせた《自信がある》(35.5%)は3割台であった。

一方、「不安がある」(16.4%)と「どちらかといえば不安がある」(41.4%)を合わせた《不安がある》(57.8%)は5割台となった。(図表6-1-1)

図表6-1-1 自身の体力観



【地域別の状況】

地域別にみると、《自信がある》は、湘南を除く6地域(30.0%~37.4%)で3割以上であった。

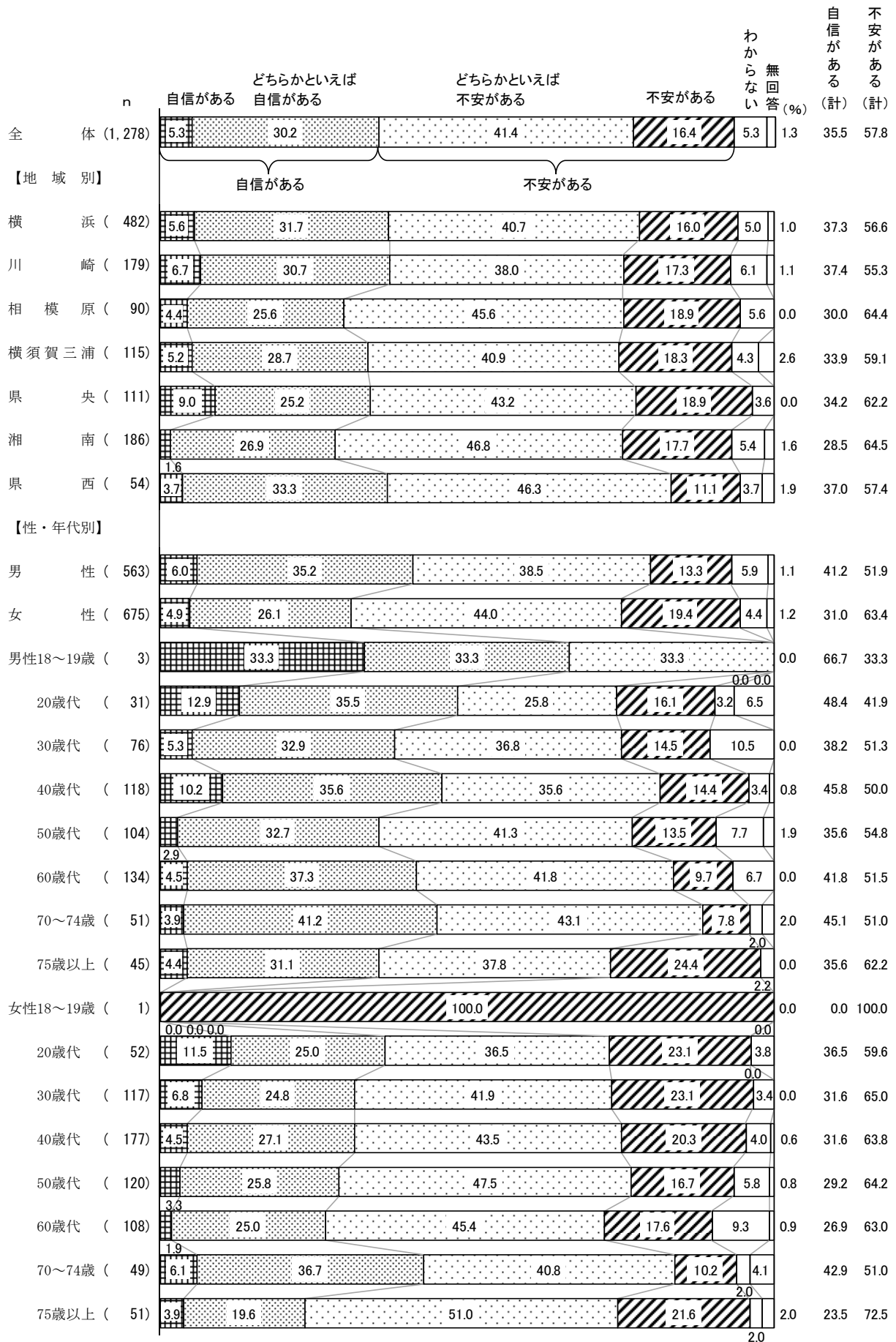
一方、《不安がある》は、湘南(64.5%)、相模原(64.4%)、県央(62.2%)がそれぞれ6割台で多かった。(図表6-1-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、《自信がある》は、男性(41.2%)が女性(31.0%)を10.2ポイント上回った。

性・年代別にみると、《自信がある》は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の20歳代(48.4%)が約5割で最も多く、男性の40歳代(45.8%)と男性の70~74歳(45.1%)が続いた。(図表6-1-2)

図表6-1-2 自身の体力観—地域別、性・年代別

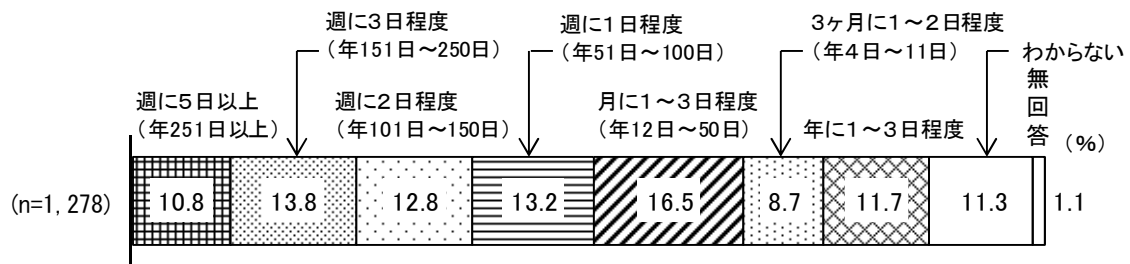


2 1年間のスポーツ実施日数【問29】

【全体の状況】

この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツをした日数を尋ねたところ、「月に1～3日程度（年に12日～50日）」（16.5%）が1割台で最も多く、「週に3日程度（年151日～250日）」（13.8%）と「週に1日程度（年51日～100日）」（13.2%）が続いた。（図表6-2-1）

図表6-2-1 1年間のスポーツ実施日数



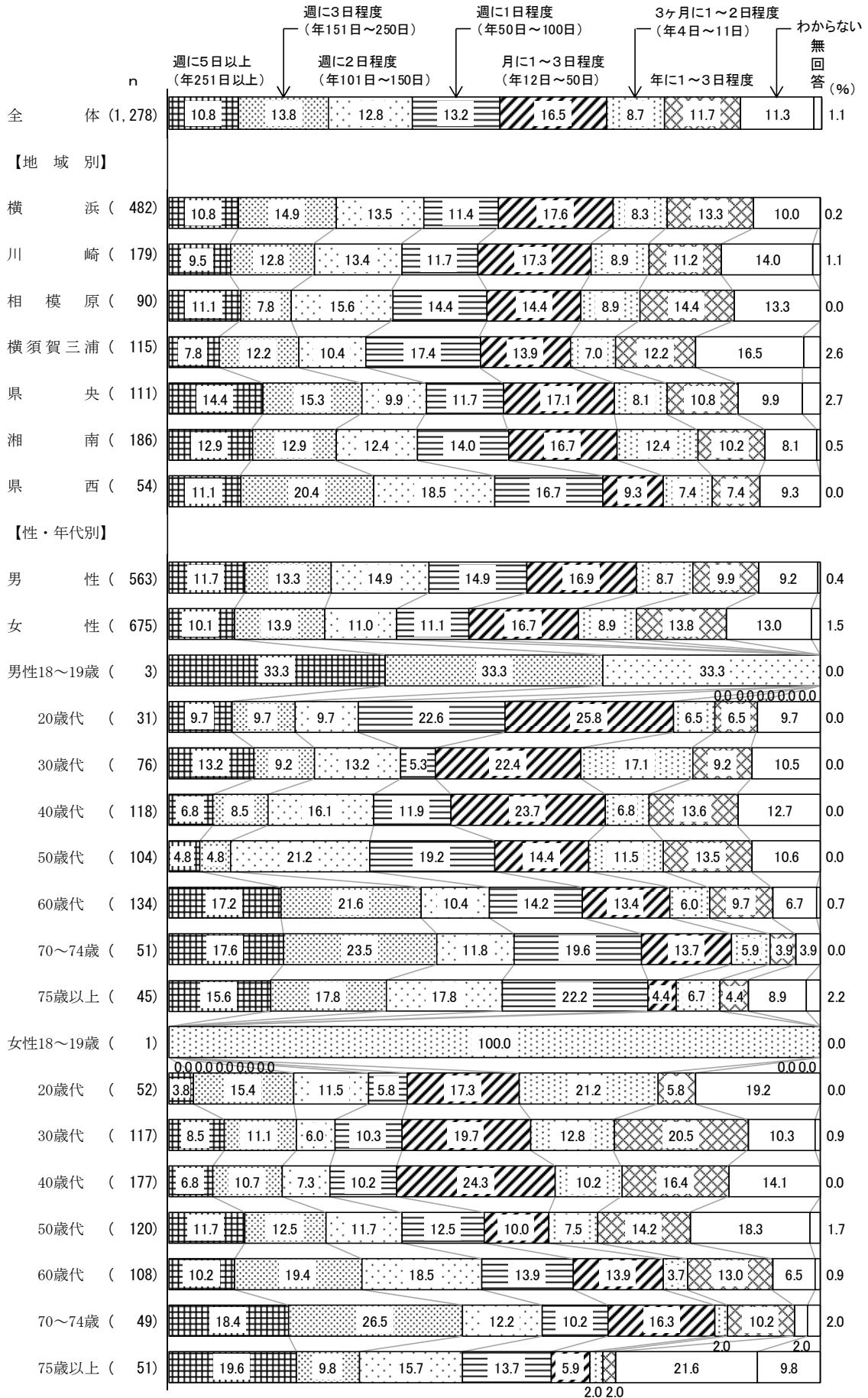
【地域別の状況】

地域別にみると、「週に3日程度（年151日～250日）」は、県西（20.4%）が2割で最も多かった。（図表6-2-2）

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「月に1～3日程度（年に12日～50日）」は男性の20歳代～40歳代（22.4%～25.8%）、女性の40歳代（24.3%）がそれぞれ2割台であった。また、「週に3日程度（年151日～250日）」は、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、男女ともに70～74歳（男性23.5%、女性26.5%）が2割台で多かった。（図表6-2-2）

図表6-2-2 1年間のスポーツ実施日数—地域別、性・年代別

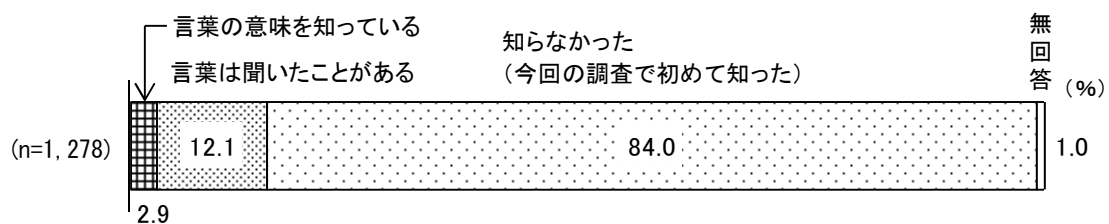


3 「3033(サンマルサンサン)運動」の認知度【問30】

【全体の状況】

「3033(サンマルサンサン)運動」を知っているか尋ねたところ、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」(84.0%)が8割台で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」(12.1%)が1割台であった。(図表6-3-1)

図表6-3-1 「3033(サンマルサンサン)運動」の認知度



【地域別の状況】

地域別にみると、「言葉は聞いたことがある」は、県西(20.4%)が2割で最も多かった。

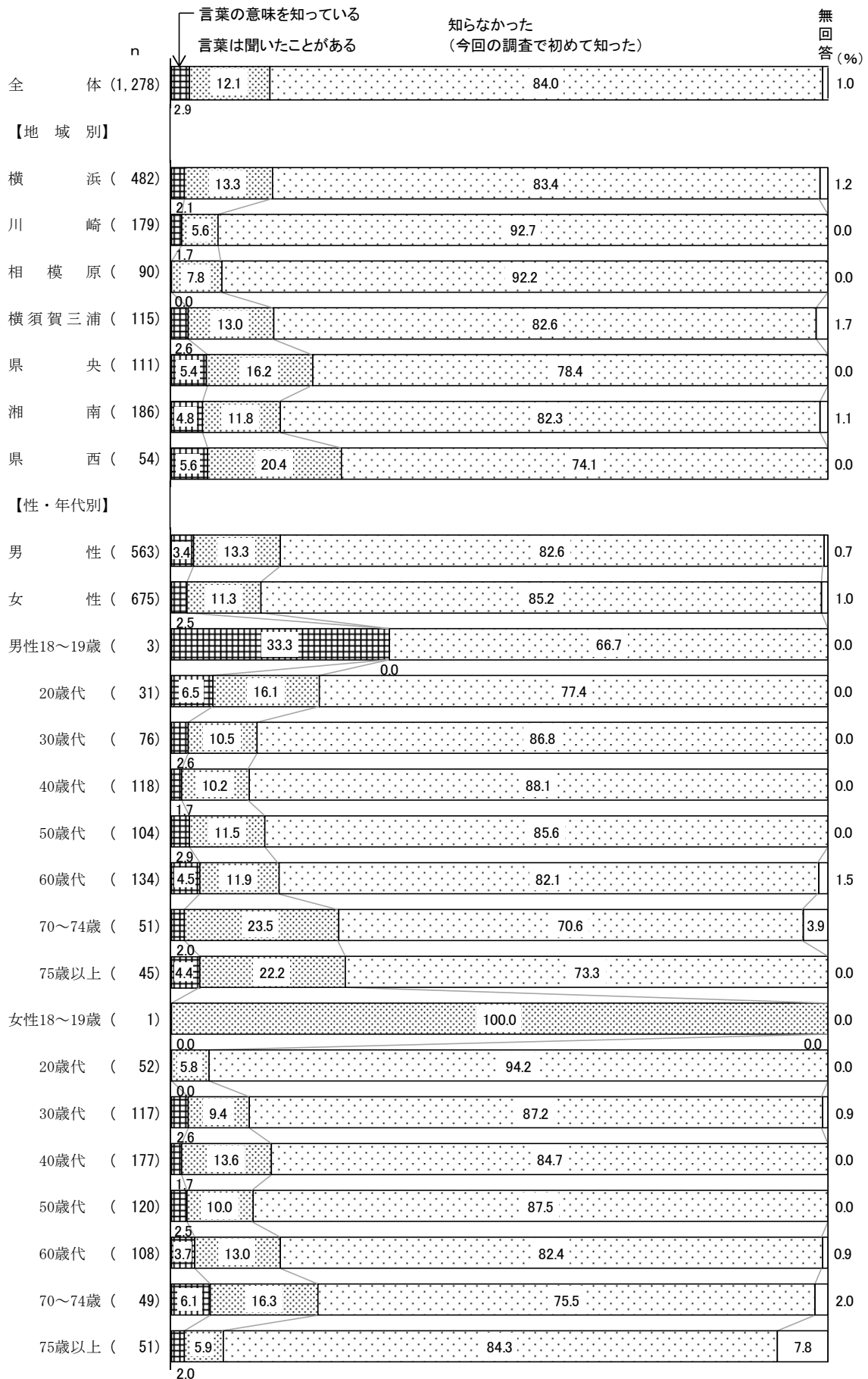
一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、川崎(92.7%)と相模原(92.2%)がともに9割台で多かった。(図表6-3-2)

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「言葉は聞いたことがある」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の70~74歳(23.5%)・75歳以上(22.2%)がともに2割台で多かった。

一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、女性の20歳代(94.2%)が9割台で最も多かった。(図表6-3-2)

図表6-3-2 「3033(サンマルサンサン)運動」の認知度—地域別、性・年代別

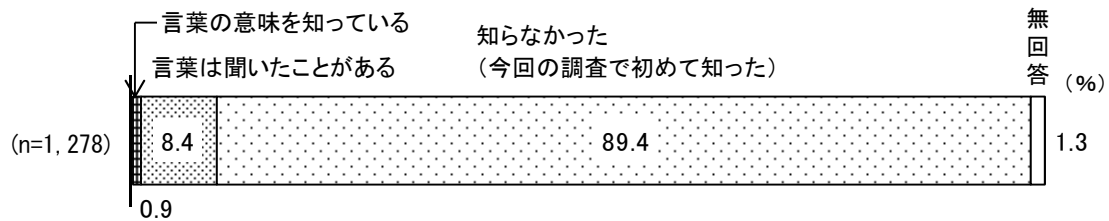


4 「かながわパラスポーツ」の認知度【問31】

【全体の状況】

「かながわパラスポーツ」を知っているか尋ねたところ、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」(89.4%)が約9割で最も多かった。(図表6-4-1)

図表6-4-1 「かながわパラスポーツ」の認知度



【地域別の状況】

地域別にみると、「言葉は聞いたことがある」は、横浜を除く6地域(2.8%~9.9%)で1割に満たなかった。

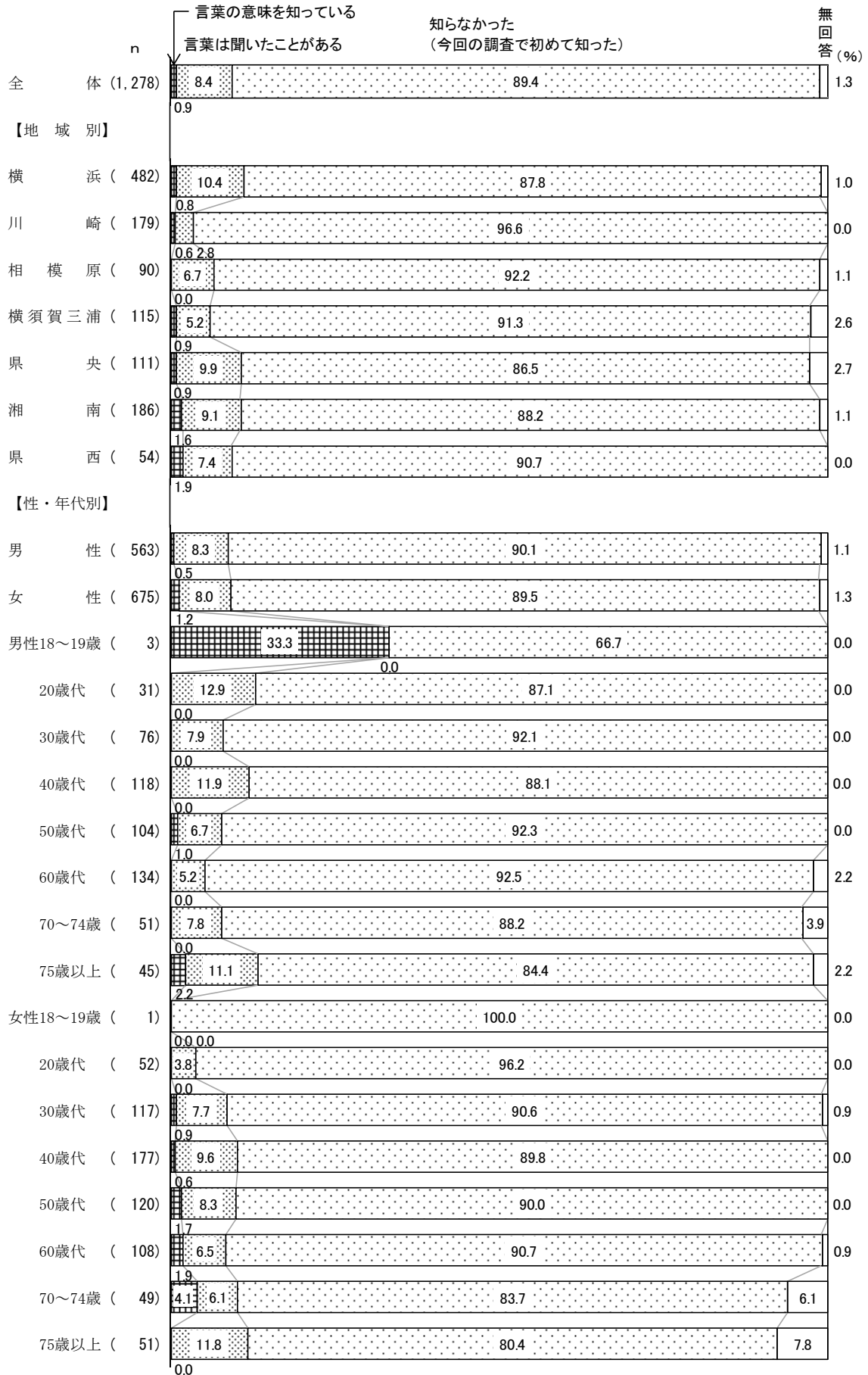
一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、川崎(96.6%)が9割台で最も多く、次いで相模原(92.2%)が多かった。(図表6-4-2)

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「言葉は聞いたことがある」は、男性の20歳代(12.9%)が最も多く、次いで男性の40歳代(11.9%)が多かった。

一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、女性の20歳代(96.2%)が9割台で最も多かった。(図表6-4-2)

図表6-4-2 「かながわパラスポーツ」の認知度—地域別、性・年代別

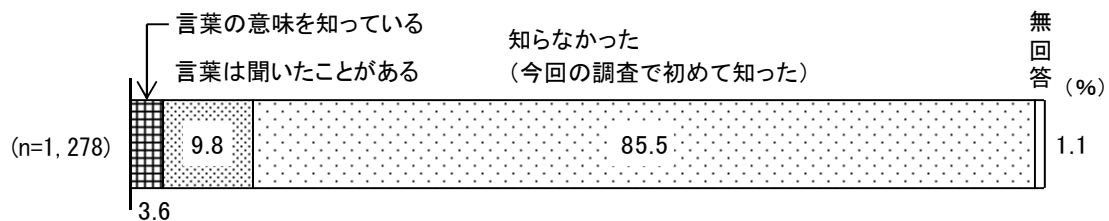


5 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度【問32】

【全体の状況】

「総合型地域スポーツクラブ」を知っているか尋ねたところ、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」(85.5%)が8割台で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」(9.8%)が1割であった。(図表6-5-1)

図表6-5-1 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度



【地域別の状況】

地域別にみると、「言葉は聞いたことがある」は、県西(20.4%)が2割で最も多く、次いで県央(17.1%)が多かった。

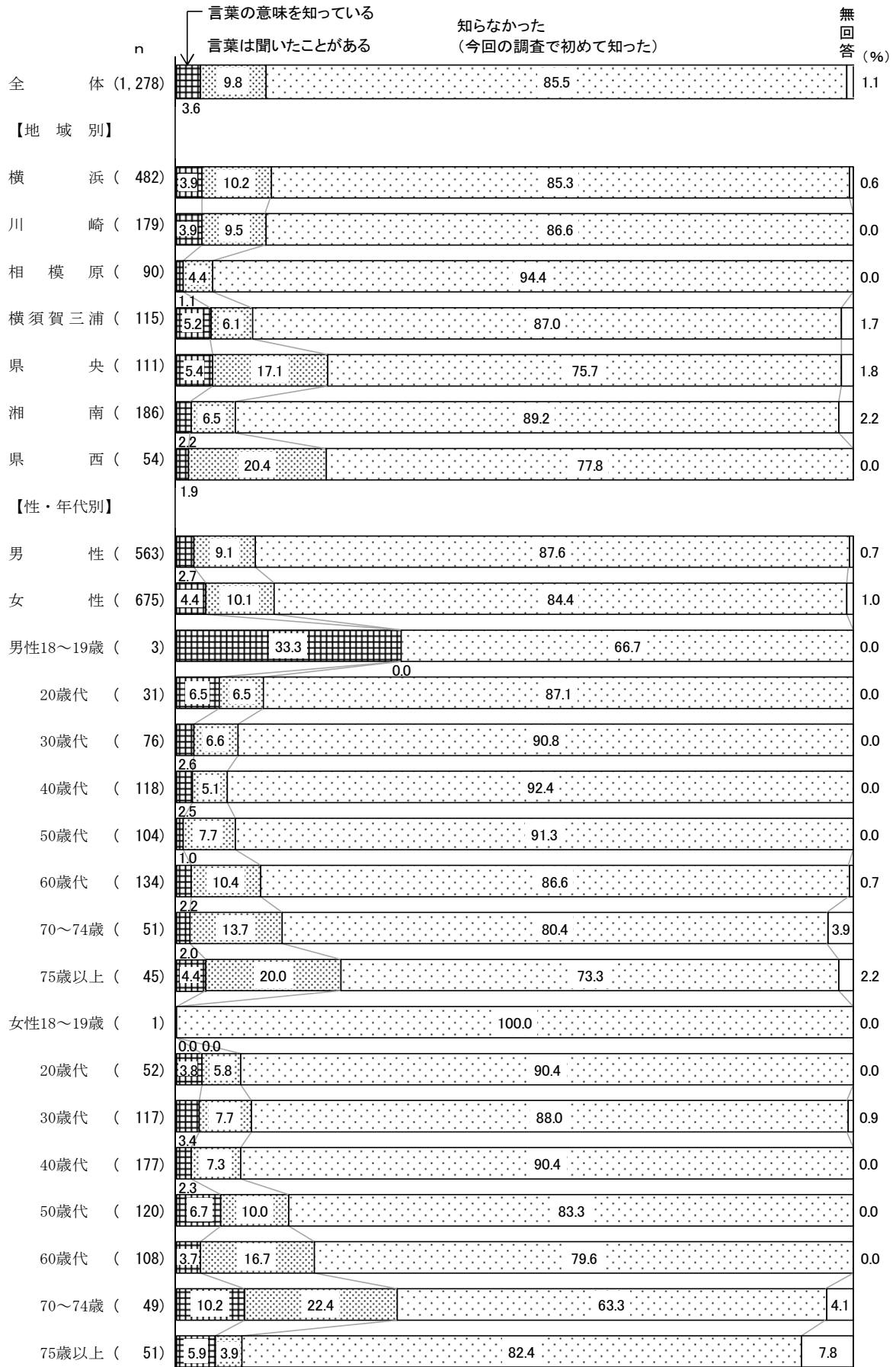
一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、相模原(94.4%)が9割台で最も多かった。(図表6-5-2)

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「言葉は聞いたことがある」は、女性の70~74歳(22.4%)と男性の75歳以上(20.0%)がともに2割以上で多かった。

一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の40歳代(92.4%)が9割台で最も多かった。(図表6-5-2)

図表6-5-2 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度—地域別、性・年代別



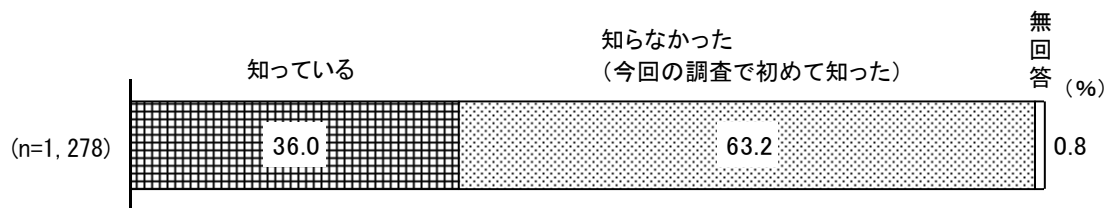
6 ラグビーワールドカップが横浜市で開催されることの認知度【問33】

【全体の状況】

ラグビーワールドカップが横浜市で開催されることを知っているか尋ねたところ、「知っている」(36.0%)が3割台であった。

一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」(63.2%)は6割台となった。(図表6-6-1)

図表6-6-1 ラグビーワールドカップが横浜市で開催されることの認知度



【地域別の状況】

地域別にみると、「知っている」は、横浜(43.8%)、県央(43.2%)、県西(40.7%)がそれぞれ4割を超えて多かった。

一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、川崎(75.4%)と湘南(71.5%)がともに7割を超えて多かった。(図表6-6-2)

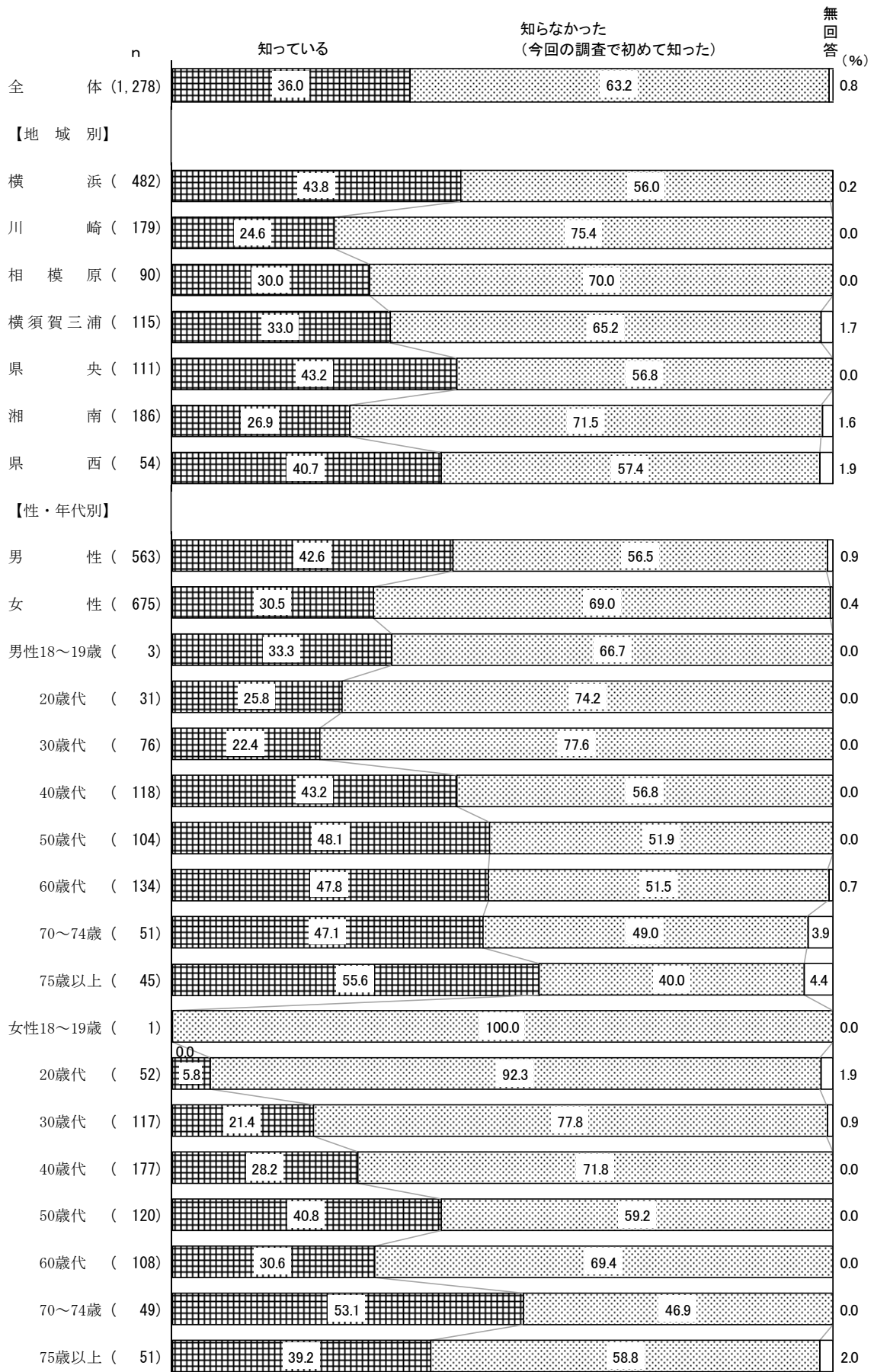
【性・年代別の状況】

性別にみると、「知っている」は、男性(42.6%)が女性(30.5%)を12.1ポイント上回った。

性・年代別にみると、「知っている」は、男性の75歳以上(55.6%)と女性の70~74歳(53.1%)がともに5割台で多かった。

一方、「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、女性の20歳代(92.3%)が9割台で最も多かった。(図表6-6-2)

図表6-6-2 ラグビーワールドカップが横浜市で開催されることの認知度—地域別、性・年代別

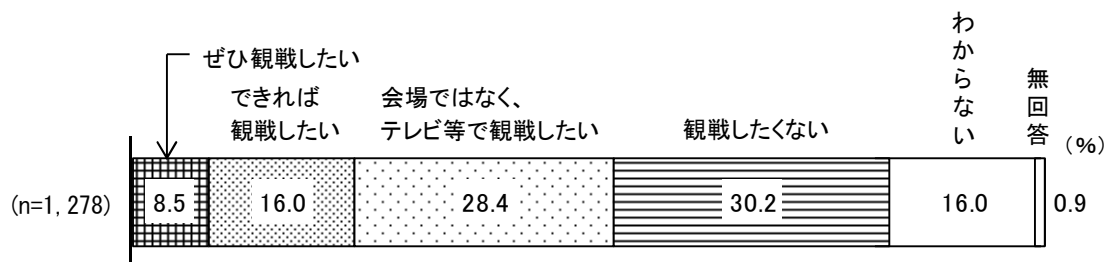


7 横浜市で開催されるラグビーワールドカップの観戦意向【問34】

【全体の状況】

横浜市で開催されるラグビーワールドカップを直接会場で観戦したいか尋ねたところ、「観戦したくない」(30.2%)が3割で最も多く、次いで「会場ではなく、テレビ等で観戦したい」(28.4%)が多かった。(図表 6-7-1)

図表6-7-1 横浜市で開催されるラグビーワールドカップの観戦意向



【地域別の状況】

地域別にみると、「会場ではなく、テレビ等で観戦したい」は、湘南 (34.4%) が3割台で最も多く、横須賀三浦 (32.2%) と県央 (31.5%) が続いた。(図表6-7-2)

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「会場ではなく、テレビ等で観戦したい」は、女性の70～74歳 (44.9%) が4割台で最も多く、男性の75歳以上 (40.0%) と男性の70～74歳 (39.2%) が続いた。

(図表6-7-2)

図表6-7-2 横浜市で開催されるラグビーワールドカップの観戦意向—地域別、性・年代別

